

トーチングアラーム

セキュリティ付リモコンドアロック MODEL 46-1200T

取扱説明書

トーチングアラームは、段階式ショックセンサーにより衝撃を感知し、ボイスとサイレンで威嚇し、車を守るセキュリティシステムです

取付けおよび使用前にこの説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取付け後もこの説明書は大切に保管することをお勧めいたします。製品を取り付ける際は工具などで怪我をしないよう充分注意して下さい。また、取付の際および使用中にサイレンの音で騒音を備めないようご注意ください。

安全のために

本製品は安全に十分配慮した設計/製作を行っております。しかし、電気製品は取り扱い方を間違えたまま使用すると、火災やショート、感電などにより、思わぬ事故を招くことがあります。また、取付の際も注意を怠ると、部品や使用する工具などにより思わぬ怪我をすることがあります。事故を未然に防ぐため、次のことを必ずお守りください。

- 取付作業を始める前に必ずバッテリーのマイナスターミナルをはずし、車両の電流を切断してから行って下さい。通電したまま行くと、作業中の配線接触等によりショート、感電事故を起こすことがあります。
- 配線の切断/接続時には特に先端の取扱いに十分ご注意ください。むき出しの銅線の先端が指先等に刺さり思わぬ怪我をすることがあります。
- 取付後、製品が正常に作動しない場合は、再度、配線状態を確認し誤配線があれば正しくやり直してください。配線が正常にもかかわらず作動しない場合は、通電をやめてください。
- 本製品は自動車の12Vバッテリー用に作られています。24Vバッテリーでお使いになる場合はご相談下さい。また、家庭用コンセント等には絶対に接続しないでください。

万一、異常が起きたら

本体が破損したり、煙や焦げた匂いがしたら、直ちに通電をやめてください。

取付作業開始前に必ずお読み下さい

設置方法

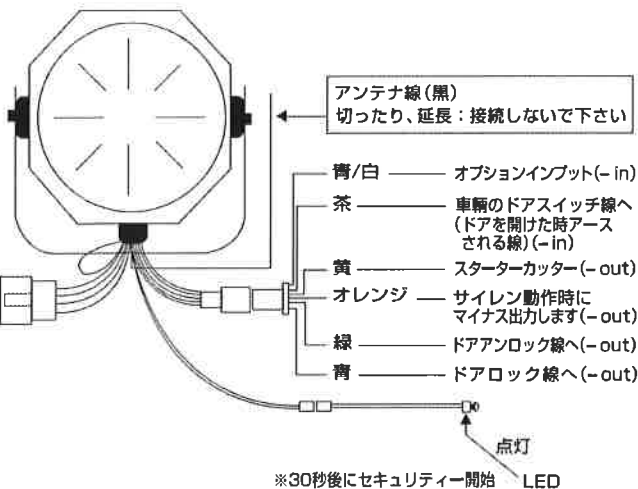
本体(サイレン&受信部)は、ビス等で、エンジンルーム内の高熱にならず、水で濡れにくい位置に設置して下さい。(エンジンルーム内ボルト等を使用しても結構です。)その際エンジン本体からなるべく離れた位置に取付けて下さい。

※青/白線は、ドアトリガー線や市販のモーションセンサー等に配線するとボイスアラームと連動出来ます。配線しなくても、基本のロック&アンロック時、段階式ショックセンサー(セット内)での反応で警告します。

※オレンジ線はサイレン動作時に市販のライト/ウィンカー等を同時に点滅させる事が可能です。その場合、車種によってリレーが必要になる場合があります。

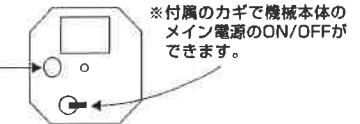
- ウィンカー線へ 灰色
- 常時電源 赤
- ウィンカー線へ 灰色
- アース 黒

●灰色線にはダイオード内蔵

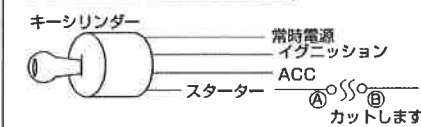


結線方法

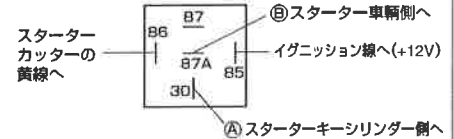
●ショックセンサーの感度調整
本体裏側のゴムキャップをはずします。ボリュームは時計回りで感度が上がり、その逆で下がります。
※あまり強く回すと、ボリュームを破損させる事がありますのでご注意ください。(破損の場合、有償修理となります。)



黄色(スターターカッター)線配線参考



※リレー面底面図(ポッシュタイプフェンジオーバー)



■ドアロック&アンロック線への接続時リレー仕様方法

※LOCK/UNLOCKは12ボルト出力でなく、信号出力です。集中ドアロックかドアロックモーターを接続する場合、必ずリレーをお使い下さい。

通常12V/作動時0ボルト/作動後再び12Vの車への配線 ※ほとんどのトヨタ車等

ロック(青線)の配線 リレーは不要
直接車のロック線へつないでください。

アンロック(緑線)の配線 リレーは不要
直接車のアンロック線へつないでください。

通常0V/作動時12ボルト/作動後再び0Vの車への配線

※運転席に後づけモーターをつける車(ほとんどの日産車、スバル車、マツダ、三菱、トヨタ、ホンダ車の一部)

ロック(青線)の配線



- 85を12ボルトへ
- 87を12ボルトへ
- 86を受信機ロック線へ
- 30をモーターへ
- 87aをアースへ

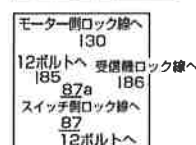
アンロック(緑線)の配線



- 85を12ボルトへ
- 87を12ボルトへ
- 86を受信機アンロック線へ
- 30をモーターへ
- 87aをアースへ

通常オープン/作動時12ボルトの車への配線 ※主な米国車/三菱・トヨタの一部

ロック(青線)の配線



- ※スイッチ線をカットして配線を行ってください。
- 85を12ボルトへ
- 87を12ボルトへ
- 86を受信機ロック線へ
- 30をモーター側ロック線へ
- 87aをスイッチ側ロック線へ



2013FEB

セキュリティ付リモコンドアロック

アンロック(緑線)の配線

モーター側アンロック線へ	130
12ボルトへ 受信機アンロック線へ	185 186
スイッチ側アンロック線へ	87a 87
	12ボルトへ

※スイッチ線をカットして配線を行ってください。

85を12ボルトへ
87を12ボルトへ
86を受信機アンロック線へ
30をモーター側アンロック線へ
87aをスイッチ側アンロック線へ

当社後づけ集中ロックへの配線

※直接ロック/アンロック線を集中ロックのコントローラーの茶、白線へ結線ください。

操作方法

- ①すべての操作はリモコンで行います。また、操作の状況は、LEDで確認できます。
- ②警報システムセットは、車を出てドアを開め、リモコンの左ボタンを押してください。「システムアームド」とアナウンスされ、ドアがロックして警報システムがセットされます。左ボタンを再度押すと「システムディスアームド」とアナウンスがあり、ドアのロックが解除し警報システムも、解除されます。

セキュリティが反応した場合の解除方法

ショックセンサーあるいはドアトリガー(インスタントトリガー)が働いた時にLEDランプは早い点滅になります。その場合の解除の方法は、通常通りの防犯システム解除操作をした後一旦防犯システムをセットし、再度防犯システム解除の操作をしてください。この操作をする事で全てのセキュリティシステムを解除することができます。

※この機能はお車のオーナーに車の異常をお知らせするための機能です。

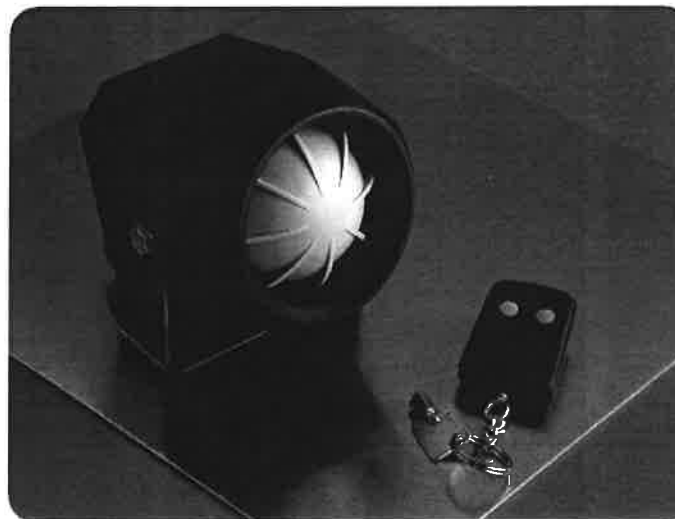
TX機能(リモコンの操作方法)

機能	ボタン操作	サイレン	LED
セキュリティシステムセット	左ボタンを押す	ボイス：システムアームド	数秒後ゆっくり点滅
セキュリティシステム解除	左ボタンを押す	ボイス：システムディスアームド	OFF
ショックセンサー/ インターナルセンサー解除	防犯システムをセットしてから3秒以内に左ボタンを押す	1回	ゆっくり点滅
カレントセンサー解除 (電流感知)	左右ボタンを同時に5-6秒間押す	サイレンが短く2回 (ピピ)	2回点滅
カレントセンサーセット	左右ボタンを同時に5-6秒間押す	1回(アラーム音)	1回点滅
パニックモード	左ボタンを3秒間押す	継続的	N/A
セキュリティシステムON/OFF時のボイスメッセージ解除	右ボタンを1回押した後に左ボタンを押す	なし	ON時 1回 / OFF時 1回

製品の操作・状況	LEDの状態	製品の操作・状況	ボイスメッセージ
セキュリティオフ	消灯	セキュリティ オン	システムアームド
セキュリティオン	常時点滅	セキュリティ オフ	システムディスアームド
セキュリティが反応し リセットされるまで	早く点滅	セキュリティが反応し 警告段階時	プロテクトドバイ セキュリティシステム スタンバック
センサーオン	1回短く点滅	強いショックに セキュリティが反応	サイレンが30秒間鳴る
センサーオフ	2回短く点滅	パニックモード (左ボタンを3秒間押す)	サイレンが30秒間鳴る

アームディレイ

ゾーン	ショックセンサー	インスタントトリガー	電流感知センサー
タイムディレイ	25秒	25秒	3分



サイズ

■メインユニット(サイレン&受信部)
D93 x W80 x H80 (mm)

■リモコン(送信部)
H48 x W35 (mm)

ⓐご注意ⓐ

- 急ブレーキ等の振動、揺れでメインユニットが飛ばないようにしっかりと車に固定してください。
- 配線は手や足が引っ掛からないような位置に行ってください。
- サイレンに耳を近づけ過ぎないようにしてください。(特にお年寄りや子供などの 同乗者)
- 乗車中は必ずスイッチをリモコンでOFFにしてください。
- 本体は水に濡れないよう充分注意してください。水気は電気回路を傷める原因になるだけでなく感電する恐れもあります。
- 本体とリモコンを高湿や直射日光の当たるところに置かないようにしてください。各電気パーツの寿命を縮めるだけでなく、本体樹脂が歪んだり、溶けたりバッテリーが破裂するおそれもあります。(耐熱-20℃~+60℃)
- 製品を落とさないように気を付けてください。落下によって製品が正常に操作できなくなることがあります。また製品の寿命を縮めることにもなります。
- 製品を本来の目的外に改造された場合や、外国で使用した場合の責任は一切負いません。
- 本製品は原則として、開封、使用後の返品には応じられません。また、取付の際、万が一、製品及び車両の破損、事故作業中のケガ等が発生しても一切責任を負いません。取付けの際は十分注意してください。
- 本製品は自動車のみで使用してください。付属品以外のアクセサリを使用すると本製品にダメージを与えたり、事故の原因となりますのでおやめください。

本製品は生産後及び出荷前にダブル動作チェックをし、万全の状態でお客様にお届けしています。取付に関しましてはこの説明書をよくお読みになって破損や事故のないよう十分注意していただくようお願い申し上げます。



2013FEB